

震災から2年。 鈴木直道 北海道知事が ENTRANCE を訪問

8月18日(火)、この日は 鈴木直道北海道知事 が「北海道胆振東部地震被災地視察」として、2年前に発生した地震で大きな被害があった厚真町、むかわ町、安平町の3町を1日かけて訪問。

安平町の訪問では「これからの復興のまちづくりの様子を見てもらうことも大事」という及川町長の想いもあり、震災からの復旧・復興の動きの中で生まれたコミュニティスペース「ENTRANCE」を意見交換の場として使っていただくことに。

及川町長を中心に、井内センター長、林副センター長、そして西村理事長から「安平町では現在どんな復興へ向けた取り組みをしているのか」「復興ボラセンをどんな想いで立ち上げ、どんなことをして町を盛り上げてきているのか」などを知事にお伝えしました。



ENTRANCEでの意見交換の様子

同時に、ENTRANCEをオープン前からここまで支えてくだ

さっている、地域の方々、役場職員の方々、ボランティアの方々に心から感謝しなければいけないと感じた1日に。

本当にいつもありがとうございます。これからも「町の未来への入り口」となるよう、子どもから大人まで居心地の良い空間、いつ来てもワクワクする空間を作っていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！



鈴木知事とともに記念撮影

子どもの「遊び場」を始めました！

「あびら教育プラン」の「遊育」の一環として、小学生を対象に毎週土日のどちらかの午前中にENTRANCEで「遊び場」を開放しています。工作や外遊び、料理など、様々なテーマで遊び環境を作っていきます。お時間のある方はどうぞお気軽に遊びに来てください。

「遊育」の詳細については、あびらチャンネルや町ホームページでお伝えしていますので、ご確認ください！



遊び場で行ったクラフト体験
(8/22実施)

震災から2年

あれから2年。まずはじめに、多くの町民のご理解とご協力をいただき、ここまでの活動をしてこれたこと、感謝いたします。ありがとうございます。この2年はあっという間でしたが、やってきたことを思い出すとすごく「濃密」な2年でした。復興ボラセンの活動も残り約半年。1日も早い新型コロナウイルスの収束を願い、町民とともにこれからの町を盛り上げていけたらと思っています。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



復興ボランティアセンター
理事長 西村 次郎

記事提供
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ



LINE@で
イベント情報お知らせ中！



(一社) 安平町復興ボランティアセンター

TEL : 070-3139-0374

MAIL : abira.fukkouborasen@gmail.com